

外部評価進行管理事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料）

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価 年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗 状況
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況	
26	各種スポーツ教室開催事業	生涯学習課	廃止	再構築の際には、水泳に特化せず、体育協会や民間企業、その他NPO団体と連携して、各種教室を検討してほしい。また、効率性を高めてほしい。	廃止	スポーツ推進委員活動事業に体力づくり講習会講師謝金を計上、スポーツ推進委員などの意見を参考に事業を計画します。	○
				事業内容を教室開催に留めず、参加後の後続活動まで視野に入れること。		総合型スポーツクラブとの連携が十分ではないため、今後も検討を継続します。	○
26	自然体験教室事業	生涯学習課	廃止	再構築の際には、NPO団体等と連携して、もっと効率性を高めてほしい。	廃止	事業の目的、必要性などを社会教育委員の会議で検討していただくなどして再構築を進めます。また、冒険遊び場事業との連携など後続活動につながるよう協議します。	△
				事業内容を教室開催に留めず、参加後の後続活動まで視野に入れること。			
26	社会教育委員の会議開催事業	生涯学習課	見直し	委員数20名は、多過ぎて議論の効率性を欠くため、委員数を大幅に削減すべきである。	見直し	平成28年度から委員数を20名から15名に削減しました。	◎
				社会教育委員の役割と責任を明確化してほしい。		社会教育委員の会議には、社会教育諸計画の立案のほか、市の社会教育を推進するための課題を自ら建議し、市民に発信していくことを求めています。	◎
				毎回の会議の目的をはっきりさせ、会議の成果を明確にすること。		平成28年3月には「社会教育関係団体の活性化について」の提言書が提出され、今後、サークル、各種団体に向けたハンドブックを作成します。	
				社会教育委員は、社会教育に関わる責任のある提言を行うよう努めてほしい。		提言を参考に今後の社会教育活動の活性化につなげ、市民の参加を促進します。	
				生涯学習関連の審議会等の関係性を明らかにし、当該会議の役割を明確にすべき。			
26	生涯学習推進事業	生涯学習課	廃止	但し、生涯学習推進事業として、現在の事業とは別の形で、事業名にふさわしい事業を新規に立ち上げてほしい。	廃止	新規事業として再構築することだけではなく、既存事業との統合も再構築の手段となるため、スポーツ、文化の振興を目的とした既存事業（スポーツフェスティバル、公民館まつり等）の中で、それらに親しむ市民が増えるよう、社会教育委員、スポーツ推進委員等の意見を参考に、平成29年度後半を目途に事業を計画します。	○
26	守谷市美術作家展事業	生涯学習課	統合	芸術祭事業、もりや夢の舞と響事業、文化協会補助事業などとの統合により事務作業の効率化を図るとともに、守谷市の全市的な一大芸術イベントとして一体的にプロモーション戦略が練られるべきである。	見直し	事業の統合は困難であるものの、一体的なプロモーションができるよう、それぞれの実行委員会に働きかけます。また、平成28年度には、市民参加型のワークショップを実施しました。今後も、出展する人・見る人の両方が楽しめるイベントを展開していきます。	○

外部評価進行管理事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料）

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗状況
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況	
26	もりや夢の舞と響事業	生涯学習課	統合	芸術祭事業，もりや夢の舞と響事業，文化協会補助事業などとの統合により事務作業の効率化を図るとともに，守谷市の全市的な一大芸術イベントとして一体的にプロモーション戦略が練られるべきである。	見直し	事業の統合は困難であるものの，一体的なプロモーションができるよう，それぞれの実行委員会に働きかけます。 なお，事業主体について，文化協会への移管を検討しています（現在は文化協会と共催）。	○
26	スポーツ・文化振興奨励事業	生涯学習課	見直し	ただし，新規事業として立ち上げる生涯学習推進事業の中にスポーツ・文化振興奨励事業として，統合すべき。	見直し	新規事業として再構築することだけではなく，既存事業との統合も再構築の手段となるため，スポーツ，文化の振興を目的とした既存事業（スポーツフェスティバル，公民館まつり等）の中で，それらに親しむ市民が増えるよう，社会教育委員，スポーツ推進委員等の意見を参考にし，平成29年度後半を目途に事業を計画します。	○
				この新規事業においては，スポーツや文化に親しむ市民を増やすという裾野拡大の方向をしつかり打ち出してほしい。			
26	大野地区公民館運営事業	生涯学習課	廃止	他地区住民との公平性が保たれていない。	見直し	平成28年度から講座事業の予算は廃止しました。施設については，子どもたちに本を貸し出す地区文庫としても利用されており，大規模修繕が必要となるまでは使用する考えです。廃止することについての対応は，地域の運営協力員と協議して，平成29年度までに方向性を出せるように検討します。	○
				廃止はできるだけ速やかに行っていただきたい。			
				老朽化した施設維持の追加支出は認められない。			
				各自治会の集会所が整備されている。			

外部評価進行管理事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料）

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価 年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗 状況
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況	
26	守谷市・常総市・坂東市ハンドボール競技振興会負担金（H28から「国民体育大会開催事業」に名称変更）	生涯学習課	見直し	市民にとって、この事業を行うことでどのようなメリットがあるのか説明すべき。	見直し	市民が様々な角度から国体を盛り上げていけるような体制を作り，ボランティアスタッフや応援スタッフとして参画することで，市民相互の交流や市民活動の活性化につながります。市民参加による大会開催に向け，市を挙げて全国から訪れる方を歓迎できるよう市民の気運を高めるとともに県やスポーツ少年団と連携し，ハンドボール教室等を開催するなど，スポーツの振興を図っていきます。さらに，国体開催を市のPRや集客へとつなげられるような事業を検討していきます。また，国体を開催することにより，常総運動公園総合体育館は，会場設備基準を満たさなければなりません。この基準をクリアするために平成29年度にアリーナの改修を行う予定です。会場を整備することにより，国体開催後も安全で快適な環境でスポーツ活動ができます。	○
				事業目的，成果を明確にすべき。			
				支出をする以上，監査責任を履行すること。		3市から各2名を配置し，学びの里に国体準備準備委員会事務局を設置しました。準備に係る業務を一括して行います。適切・効果的な事業実施，支出がされているかを確認するとともに，各市の会計管理者及び代表監査委員が監査し，支出項目の適正管理を行います。	◎